

男女がともに活躍できる環境づくり事業【札幌市】

個別事業費	5,492 千円
交付金額	2,746 千円

地域の実情と課題

- ・第3次産業の割合が高く、3業種（卸売業・小売業、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業）が事業所数・従業者数ともに半数を占める。
- ・政令市の中で女性の割合が最も高く、女性の非正規雇用が55.8%と多いこと等が、女性の低賃金や管理職比率の低迷の原因。また、男性の長時間労働や家事・育児負担の男女差が顕著という特徴がある。
- ・市内企業の55.6%が女性活躍に関する課題を認識しておらず、市内企業への意思醸成に課題がある。企業の意思決定層への働きかけと、業種・規模別に異なる課題に即した対応が必要。

事業の特徴

- ・効果を高めるため特定の業種・規模の企業等に重点的に訪問し、本市独自の認証制度の申請勧奨や同業種の先進事例紹介等を行った。
- ・業種別に女性活躍に関する先進的な取組を企業・団体にインタビューし、ホームページへの掲載や認証企業に周知した。また、企業向けセミナーにインタビュー企業が登壇して多角的に発信した。
- ・ジェンダー平等や女性活躍がテーマの連続セミナーの参加者に意識・行動変容の追跡アンケートを実施した。
- ・図書館で家事育児シェアをテーマの企画展の実施や、さっぽろまちづくりパートナー企業の店舗で啓発冊子の常設配布を行った。

事業の効果

- ・企業訪問や連続セミナー等の機会を捉えて制度を周知した結果、事業目標である「ワーク・ライフ・バランスplus認証企業数」が目標値を上回り、順調に認証企業を増やすことができた。
- ・連続セミナーで行った追跡アンケート調査では、59%の参加者が意識変容を実感したという結果があり一定の効果があった。
- ・過去にインタビューした企業がセミナーに登壇するといった重層的な事業展開等により、札幌市内の働きやすい環境づくりが促進され、事業KPIである「やりがいと充実感を感じて働く女性の割合」が目標を達成することができた。

目的・目標

札幌市におけるワーク・ライフ・バランスや女性活躍に取り組む企業を増やすことで、女性が働きやすい環境をつくり、最終的にはやりがいと充実感を感じて働く女性の割合を増加させることを目的とする。

	目標・KPI	目標	実績
事業目標	ワーク・ライフ・バランスplus認証企業数	1,250 (アウトプット)	1,260 (R8年3月時点)
事業KPI	やりがいと充実感を感じて働く女性の割合	36.9% (アウトカム)	46.0% (R8年2月時点)

連携団体

ジェンダーコレクティブ北海道、NoMaps実行委員会、札幌市男女共同参画センター、株式会社良品計画、さっぽろ連携中枢都市圏加盟自治体、北海道

今後の課題

- ・事業目標であるワーク・ライフ・バランスplus認証企業数が順調に増えている一方で、より効果的と分析した業種のうち認証企業数の少ない業種に重点的に訪問したが、うまく認証に繋がらなかったという課題がある。
- ・今後は認証企業数を増やすことも必要だが、現在の認証企業も含めて、市内企業のワーク・ライフ・バランスや女性活躍の取組事例を積極的に共有する機会を創出し、企業の取組内容を充実させるような事業を推進することが必要だと考える。

事業の概要

① 企業・業界団体への重点的訪問

本市の産業構造を踏まえ、より効果的と分析した業種・規模の企業・業界団体に重点的に訪問し、企業認証制度の申請勧奨や同業種の取組事例紹介等を実施。

② 認証企業へのアフターフォロー

認証企業にメール送信により、育児・介護休業法改正等の影響を踏まえた変更申請勧奨や、取組事例の情報を提供するアフターフォローを実施し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に関する取組を改めて考える契機とし、新たな取組を促した。

③ 業種別企業等インタビュー

※交付金対象経費からは除外

業種別に女性活躍に関する取組を先行する企業や団体3件にインタビューを行い、本市ホームページへの掲載や認証企業への周知等により事例を紹介した。



④ セミナー参加者同士の交流促進・参加者へのフォローアップ

ジェンダー平等や女性活躍をテーマとした連続セミナー（5回）を開催し、セミナー中やセミナー後に参加者同士が交流する時間を設けた。また、参加者に対して意識・行動変容の追跡アンケート調査を実施。



⑤ 家事育児シェアを気軽に考えてもらう機会の拡大

図書館での企画展による啓発や、民間企業の店舗での啓発冊子の常設配布による連携を実施。また、家事育児シェア関連データを本市ホームページ上で新たに発信。

